

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (H28-20号)

平成28年10月31日  
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成28年10月26日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しましたが、その結果は以下のとおりです。

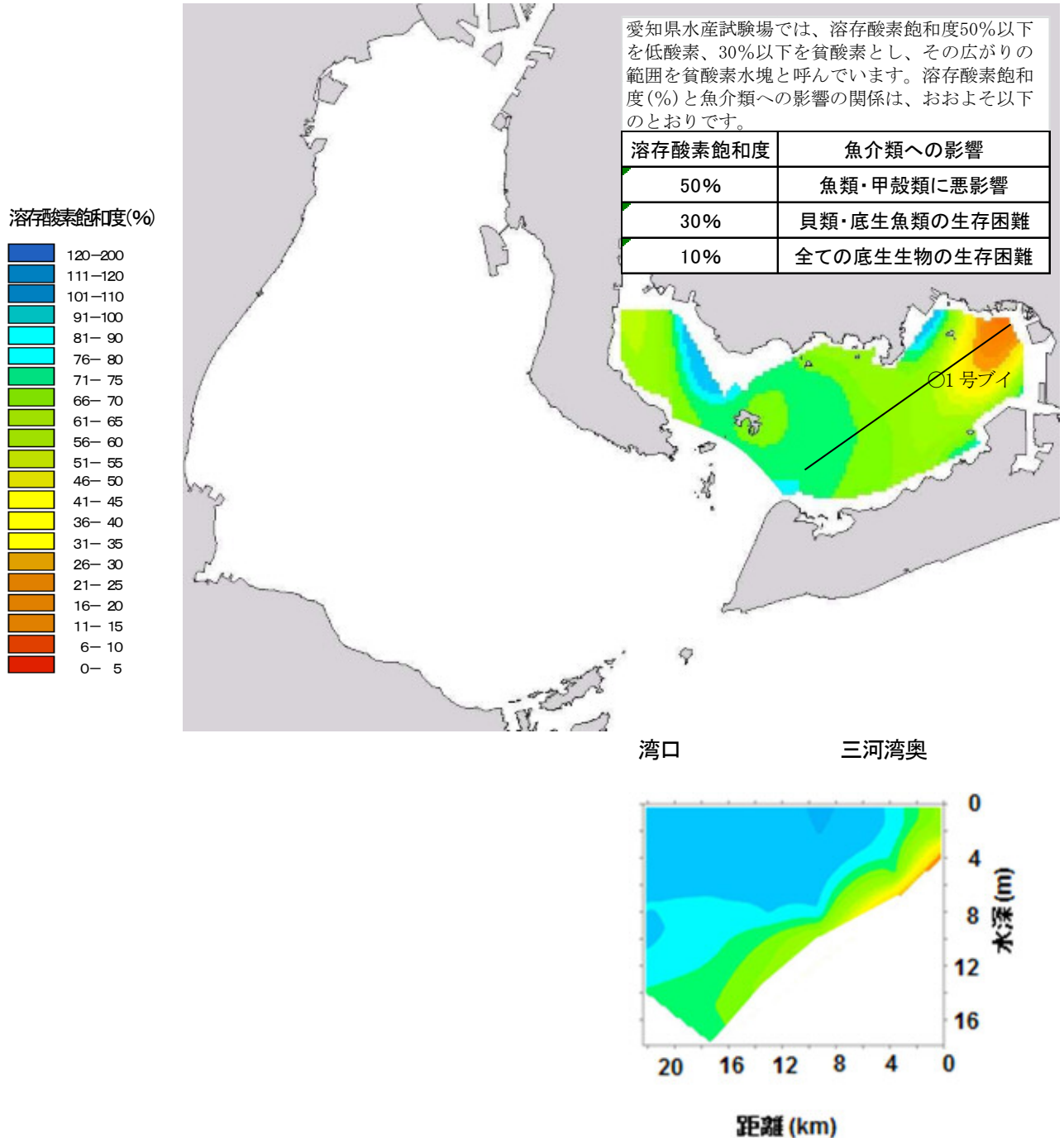


図1 三河湾(10月26日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)  
(愛知県「へいわ」調査)

### 三河湾

10月26日の調査結果を図1、表に示しました。前回調査(10月18、19日)と同様に渥美湾奥部で貧酸素水塊がみられましたが、貧酸素の層は薄く小規模でした(図1)。

自動観測ブイ1号(蒲郡沖)のデータを見ると、10月23日に貧酸素水塊が観測されましたが、その後、風による上下混合により解消し、29日以降は表層から底層まで溶存酸素飽和度が一様になっていました(図2)。

今後は、表底層の密度差が小さく、上下混合しやすい時期となるため、貧酸素水塊は解消に向かうと考えられます。今回で三河湾の貧酸素調査を終了します。

表 調査時の水温・塩分

	水温(°C)			塩分		
表層	20.4	~	22.5	29.1	~	31.1
底層	20.6	~	22.5	30.0	~	32.9

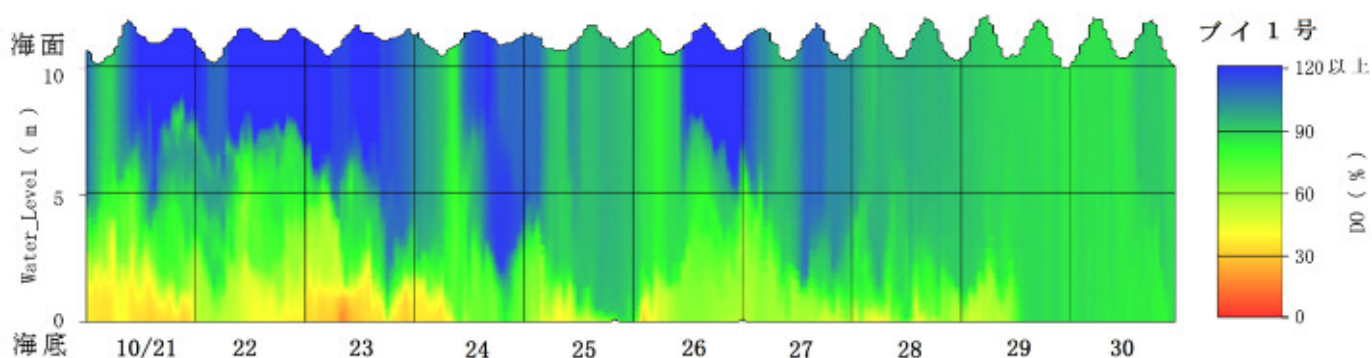


図2 溶存酸素飽和度(DO)の経時変化(自動観測ブイ1号)

### 参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

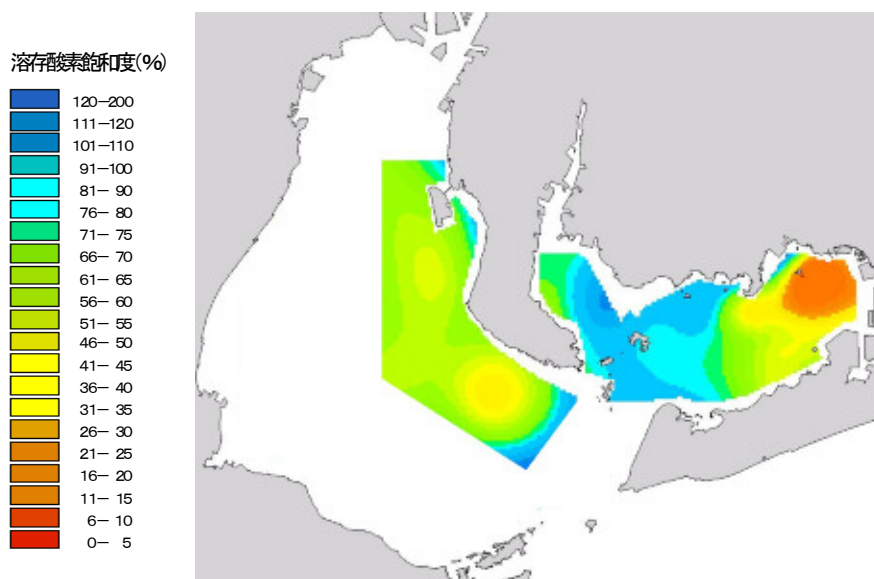


図3 平成28年10月19日(伊勢湾)、10月18、19日(三河湾)